

嘘から生まれた恋
言えなかった本当の気持ち
苦しくて、いとおしい、
忘れられない記憶たち

早見あかり

竹内太郎

石橋杏奈

工藤阿須加

ひろみ(第2PK)

向井理

監督 耶雲哉治

脚本 狗飼恭子

原作 中田永一「百瀬、こっちを向いて。」(祥伝社刊)

主題歌 「こっちを向いてよ」WEAVER(Ai Sketch)

企画・制作 プロダクション ROBOT

製作 ROBOT ハビネット BS日テレ スールキートス ソニープCL TSUTAYA
東急エージェンシー Ai Sketch ホリ・エージェンシー テレビ埼玉

配給 スールキートス

www.monose-movie.com

© 2014 映画「百瀬、こっちを向いて。」製作委員会

百瀬、 こっちを向いて。



百瀬、こつちを向いて。

高校卒業以来、久々に故郷に降り立った相原ノボル(30歳/向井理)は、変わらぬ街並みに触れ、今でも忘れられない15年前の出来事を思い返す。



「あんたと私が付き合っているフリをするの」

ノボルと百瀬、それぞれの想いを抱きながら、二人は「嘘」の恋愛関係を始めていく。恋をした事の無いノボルと、想いを寄せる瞬間の為に自分が傷つくこともいとわない百瀬。「嘘」で始まった二人の「恋」の行方は――。



芽えな高校生活を送る1年生のノボル(15歳/竹内太郎)は、ある日幼馴染で先輩の宮崎隣(工藤阿須加)からショートヘアで野良猫のように鋭い目つきをした同学年の女子、百瀬陽(15歳/早見あかり)を紹介される。

そして、彼女からある提案を受けるのだった……。



主演は、長編映画初主演となる早見あかり。2011年に惜しまれながら人気アイドルグループももいろクローバーを脱退。以降、ドラマ・CM等で活躍し、本作では強さと脆さを抱える百瀬陽を、透明感溢れる佇まいで演じている。そして、物語の語り部となる大人になった相原ノボルを演じるのが、向井理。これまで多彩な役柄を演じてきた向井理は本作で、15歳の時の初恋を忘れられないまま小説家になったノボルをハマリ役とばかりに、好演している。

原作は、中田永一による過去と現在が交差しながら織り成される、瑞々しい恋愛小説「百瀬、こつちを向いて」。脚本は『ストロベリーショートケイクス』(06)などを手掛けた、ラブストーリーの名手狗飼恭子。そして監督は全国の映画館で流れる「NO MORE 映画泥棒」の演出を手掛け、CMやPV等の映像作品で高い評価をえている耶雲哉治が初の長編映画に挑んでいる。

誰しもが思い出す、思春期の瑞々しい日々を切り取り、初めて恋をする事で知った苦しみや悲しみ、そして喜び、心の機微を余すことなく描いたこの繊細な作品が誕生した。

早見あかり

竹内太郎 石橋杏奈 工藤阿須加 ひろみ(第2PK)

向井理

監督:耶雲哉治

脚本:狗飼恭子

原作:中田永一「百瀬、こつちを向いて」。(祥伝社刊)

主題歌:「こつちを向いて」WEAVER (A-Sketch)

企画・制作プロダクション:ROBOT

製作:ROBOT ハビネット BSHテレ スールキートス

ソニー PCL TSUTAYA 東急エージェンシー A-Sketch

ホリ・エージェンシー テレビ埼玉

配給:スールキートス

www.momose-movie.com

©2014 映画「百瀬、こつちを向いて」製作委員会

WEAVER

2004年結成。2009年ピアノ・トリオWEAVERとしてメジャーデビュー。最新楽曲は配信限定シングル「夢を繋いで」(2013年12月18日(水)～2014年1月7日までの期間限定配信)。本作の主題歌となる「こつちを向いて」は、映画の為に書き下ろされたもので、「嘘」を通じて描かれる初恋の苦み/葛藤、ノスタルジアや瑞々しさが詰め込まれた楽曲に仕上がっている。2014年1月末～メンバー全員がロンドンへ留学予定。
オフィシャルサイト <http://www.weavermusic.jp/>



2014年5月10日(土)より全国ロードショー